

農業の地域計画（案）に対するパブリックコメント実施結果について

意見募集期間 令和7年1月10日（金）～令和7年2月7日（金）

意見提出者 1名

提出意見数 1件

意見番号	意見者番号	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	1	<p>日進市の農業を衰退させないためには、市だけでなく農家の集合体である農協が農業者の支援を行うべきである。農地の集約化にしても効率化にしても市だけでなく農協も農家のことを考えて行うべきである。市ももっと農業者の現状を細かく見ていくべきである。市、独自の政策も考えていくべきだし、都市近郊の農業の有り様を検討してほしい。例えば、給食センターの野菜は、農家から購入する。など、現状はハードルが高すぎて出荷が厳しい。1年間の購入の計画が農家に全く伝わらないので、作付けができない。売る場所があれば、農家は作付けをしたいと思います。日進市の農業を守るも守らないのもすべては「人」の考えひとつであるので行政（市）も農家に寄り添う施策を多くの農家から聴き行ってほしい。これは農協にも言えるが。一番気になることは、市にも農協にも末端農家の意見が全く伝わらないことである。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ご意見をJAあいち尾東農協（以下、農協とする）にも情報共有させていただき、連携して農家さんの支援に取り組んでまいります。・地域計画においては、大規模な転用が見込まれる場合や、計画期間の中間等、必要に応じて見直しに係る協議の場を設ける予定です。また、営農組合、自治会等の地域での活動の場、農業委員・農地利用最適化推進委員等を通じて、地域の農家さんのご意見をお伺いしてまいります。